

# 古河大使 活動レポート

今回は 樋口真嗣さん をご紹介



昭和40年東京都生まれ。旧総和町に移り、市内小中学校を経て県立古河第三高等学校卒業。映画『カメラ大怪獣空中決戦』『シン・ゴジラ』（平成28年）で第40回日本アカデミー賞最優秀監督賞を受賞。最新監督作品として、『シン・ウルトラマン』（令和4年）が公開。

## 監督作品 Netflix映画 『新幹線大爆破』独占配信中！

『日本沈没』でもタッグを組んだ草薙剛さんを主演に迎え、爆弾が仕掛けられた新幹線の内外で起こるさまざまな危機を巡る人間の攻防を描いたノンストップサスペンスです



**comment** 樋口さんからコメントをいただきました

小学4年生の時に、市内にあった光映会館という映画館へ公開初日に観に行ったのが『新幹線大爆破』でした。中学時代は新幹線の試験線(のちの東北新幹線)の建設中で、開通を待ちわびていたものです。それから半世紀近く経って、映画の舞台として撮影できる日が来るとは、まさに感無量。50年分の大好きを込めて作った映画です。ぜひ、ご覧ください。

古河大使とは 市出身または、市にゆかりのある著名人の皆さんに「古河大使」として市の魅力を広く内外へ紹介・PRしていただき、古河市の知名度やイメージの向上を図っています

# わたしの夢

## 笑顔運ぶ電車の運転士に イエルク元吉さん 古河第五小学校6年生

ぼくの夢は、電車の運転士になることです。小さい頃から電車が好きで、住んでいた場所から毎日電車を見ていたことがきっかけです。

ある日、駅のホームで運転士さんに敬礼をしたら、ニコッと笑って敬礼を返してくれました。その運転士さんの電車は乗り心地がよくて、ぼくはいつの間にか笑顔になっていました。

そんな運転士さんのように、ぼくも、みんなを笑顔にできる電車の運転士になりたいと思います。



# キラリ 古河ビト

**竹刀一振りに思いを込めて**  
剣道六段審査会に最年少で合格

**杉森令依さん(29歳・下大野)**

古河第一中学校の教員で剣道部の顧問を務める杉森さん。現在も総和剣道クラブに所属し、仕事との両立を図りながら数々の大会に出場しています。昨年5月に合格率30%といわれる六段の審査に合格し、今後のさらなる活躍が期待される杉森さんに、剣道に対する思いなどを伺いました。

小学3年生の時に総和剣道クラブで剣道を始めた杉森さん。高校、大学と強豪校に進学し、教員になってからもクラブの道場で稽古を積むなど、日々鍛錬を重ねています。その成果もあり、難関の六段審査に県内女性最年少の29歳で合格しました。当時、杉森さんは中学3年生の担任だったこともあり、多忙で満足な稽古もできなかったと言います。だからこそ審査にかける思いは強かったそう、今までの緊張感の中で楽しむことができたとのこと。職場の理解や道場の先生たちの指導のおかげと杉森さんは謙遜しますが、初段から一度も落ちることなく最速で合格したことは、杉森さんのためまぬ努力の結果に他なりません。

古河一中には3年前に赴任し、経験を生かして剣道部顧問に。勝敗だけにこだわらず、生徒がいつまでも剣道を好きでいてくれるような指導を心がけているそうです。その根底にあるのは剣道を通じて得られる礼儀と、支えてくれる人たちへの感謝の気持ち。自身も人としてさらに成長したいと熱いまなざしを語ります。

困難なことにも挑戦する姿を見てほしいと、七段合格を見据え、新たな一歩を踏み出した杉森さん。大好きな教え子たちと共に、今日も情熱を込めて竹刀を打ち込んでいます。



▲常に笑顔で生徒たちに接します



▲気迫が伝わってくる構え



▲関東大会優勝時(平成22年/総和中)